

IPOかわら版

上場維持基準の経過措置は翌春まで 流通株式時価総額の改善が急務

年初のかわら版では、新規上場会社数の推移について掲載しました。今回は、上場を維持する妙を得る一環で、逆説的ではありますが、昨今の上場廃止の傾向を見てみたいと思います。

2024年（6月末時点）の東証上場廃止銘柄数は51社です。2021年の86社が、東証が集計する2014年以降では最多でしたが、今年はその殆どが、TOBやMBOといった組織再編による非上場化です。

2025年3月1日以後に到来する基準日から、現在適用されている上場維持基準の経過措置が終了し、本来の上場維持基準が適用されます。上場維持基準のなかでも、流通株式時価総額を満たしていない企業はまだ多く、本件も、昨今の上場廃止の増加の遠因であると思われる

2022年以降の東証上場廃止銘柄数

	(市場再編前)	プライム	スタンダード	グロース	東証合計
2022年	25	14	33	5	77
2023年		27	26	8	61
2024年		15	25	11	51

2024年6月末現在

東証「上場廃止銘柄一覧」より集計

2022年以降の東証上場廃止理由

	株式併合	完全子会社化	売渡請求 (TOB)	合併	内部管理体制の不備	破産・更生	四半報提出遅延	計
2022年	26	25	24			1	1	77
2023年	28	11	17	2	3			61
2024年	28	11	10		1	1		51
計	82	47	51	2	4	2	1	189

東証も、かわら版前号に掲載したPBR改善要請などを経て、企業価値向上へむけた意識改革の必要性を訴えています。結果に至らない企業は、上場維持基準に抵触し、改善期間、監理銘柄指定期間を経て改善されない場合、最終的には上場廃止となります。

昨今の組織再編は、市場からの強制退場処分を受ける前に、企業存続のために講じられた手段のひとつであるように見受けられます。

上場廃止の話題は一見して、これから上場を目指す企業各社には縁起の悪い、または無縁の内容にうつるかもしれません。しかし上表のとおり、多くの上場準備会社は上場のターゲットとするグロース市場においても上場廃止の例はありません。

上場のみならず、その後の上場維持まで視野に入れるうえで、株価を意識した経営戦略の策定は必須と言えます。

安さだけで 決めると間違う 監査法人



偉人の名言から学ぶ IPO

【第43回】

間違えた方がいいじゃない。機械じゃないんだから。フジコ・ヘミング

今回の名言は、日本人ピアニストの母とスウェーデン人の父との間に生まれ、リストの「ラ・カンパネラ」の演奏等で社会現象を巻き起こしたピアニストのフジコ・ヘミングによるものです。2014年4月21日にお亡くなりになりました。92歳でした。16歳の時に中耳炎の悪化により右耳の聴力を失った。その時に左耳の聴力を失った。直前に左耳の聴力を失ったという困難に見舞われながらも、感性を揺さぶる演奏で「魂のピアニスト」と呼ばれるまでに至りました。今回の名言は、天才と呼ばれた人々が生み出した譜面から、ピアノという楽器を使って、ピアニストが比類なきものを生み出すとうとして、その過程において、機械のように精密さは果たして必要であるのか、と彼女が言っているのだと解釈しました。単純に、間違ってもいいじゃないの、我々は機械ではない人間です。大雑把な仕事は良くないです。このように心持ちは少し持つてもよいです。冥福をお祈り申し上げます。

IPOニュース ダイジェスト

赤字上場の可否

2024年5月31日に東京証券取引所から、「上場審査に関するFAQ集」が公表されました。FAQ集の中でも、特に「赤字上場」に関する記載について、IPO関係者の間で話題となっています。

FAQ集では、赤字上場の可否について、「グロース市場において上場までの黒字化を求め、取引所の見解を改めて明記しています。他にも、上場準備中のM&Aの可否については、「上場準備中にM&Aを実施しないことを求める制度はありません」として、同様に取引所の見解を明記しています。ただし当然ながら、前者については、成長の実現に向けた取組みの効果やコストを合理的に反映した事業計画が、後者については、M&A対象事業を含むグループ全体の管理体制の整備が、それぞれ必要となります。これらのFAQ集は、企業の成長に資するべきIPOの準備により、かえって成長が阻害されているとの課題を受けての対応と理解されています。今後の動向が注目されます。

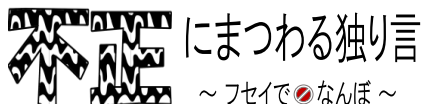
電車でする！AAP発のお役立ち小冊子

- 「今さらながらの内部統制」「そろそろIFRS?」「会計監査人との連携」豆知識
- 「新」収益認識基準
- 【A&Aパートナーズ著 A5判】



※ご連絡いただいた方に無料で配布しております。

令和6年4月~6月新規上場会社の概況



にまつわる独り言

～フセいでなんぼ～

“注意一秒 怪我一生”
AAPの不正リスク
 ショートレビュー
 お問い合わせ先
 forensics@aap.or.jp

2024年6月8日に出版大手KADOKAWAグループに対するサイバー攻撃があり、グループ会社の「ダウンゴ」も攻撃を受けました。そのため、ニコニコ動画等のサービスが停止となり、本稿の執筆時点では完全な復旧がなされていません。サイバー攻撃に対する憤りを覚えた方も多いのではないのでしょうか。

インターネットに接続している以上は、サイバー攻撃の脅威から逃れることはできません。ダウンゴのようなネットコンテンツを生業にしている企業ですらこのような状況です。セキュリティ対策は費用がかかり実際の売上に貢献するものではありませんが、転ばぬ先の杖としてセキュリティ対策を見直すことをお勧めします。

セキュリティ対策は技術的な対策と社内体制の構築の大きく2つに分けることができます。技術的な対策の例は最新セキュリティツールの導入です。社内体制の構築はイメージが湧きにくいかもしれませんが、脆弱性の情報を日々収集する担当者を設置すること、サイバー攻撃が実際に起きた時の責任者を明確にすること、ステークホルダーとのコミュニケーションルールを事前に決めておくこと等が挙げられます。

サイバー攻撃を受けた企業を見ていると、サイバー攻撃後に右往左往しているケースが目立ちます。いざという時には迅速に行動できるように平時からサイバー攻撃を受けた場合のシナリオを検討し、態勢を整えておくことが望ましいように思われます。

市場	上場日	社名	決算	業種	売上	利益	公募	初値	
東S	4/4	(株)アズパートナーズ	3	サービス業	17,150	563	1,920	2,923	↑
東S	6/20	(株)タウンズ	6	医薬品	15,673	3,034	460	430	↓
東G	4/8	(株)イタミアート	1	その他製品	3,112	153	1,600	2,000	↑
東G	4/11	(株)ハンモック	3	情報・通信業	4,282	648	2,060	2,160	↑
東G	4/16	(株)Will Smart	3	情報・通信業	1,085	27	1,656	1,580	↓
東G	4/24	レジル(株)	6	電気・ガス業	48,867	1,344	1,200	1,205	↑
東G	4/25	コージンバイオ(株)	3	化学	4,770	384	1,900	2,030	↑
東G	5/28	(株)学びエイド	4	情報・通信業	501	93	970	1,282	↑
東G	6/5	(株)アストロスケールホールディングス	4	サービス業	1,792	(9,264)	850	1,281	↑
東G	6/11	(株)D&Mカンパニー	5	サービス業	1,111	171	1,000	1,308	↑
東G	6/14	Chordia Therapeutics(株)	8	医薬品	2,500	223	153	255	↑
東G	6/18	インテグループ(株)	5	サービス業	1,273	170	3,960	5,940	↑
東G	6/19	(株)ライスカレー	3	サービス業	2,374	109	1,420	1,560	↑
東G	6/20	PostPrime(株)	5	情報・通信業	787	186	450	450	-
東G	6/20	(株)WOLVES HAND	6	サービス業	4,651	506	770	875	↑
東G	6/21	(株)MFS	6	その他金融業	1,607	(149)	400	368	↓
東G	6/27	(株)豆蔵デジタルホールディングス	3	情報・通信業	9,586	1,159	1,330	1,348	↑
東G	6/28	(株)ロゴスホールディングス	5	建設業	28,025	(80)	2,290	2,290	-

- ・合計18社(前年同期27社)。公募初値の割合72%、期越え上場は13社
- ・売上及び利益は百万円単位、公募及び初値は円単位。売上及び利益は上場直前期の金額(期越え上場で申請期の有価証券報告書が開示されている場合は申請期の金額)を記載している。なお、利益は(親会社株主に帰属する)当期純利益を記載している。
- ・内国株のみ記載している。市場変更や既上場会社の株式交換による持株会社上場等は除外している。

令和6年4月～6月の、新規上場会社数は前年同期比9社減の18社となりました。市場区分は東PO社、東S2社、東G16社となりました。東Gへの上場は全体の約89%、期越え上場は13社でした。

オフアリング総額では、10億円未満が3件、10億円以上50億円未満が11件、50億円以上100億円未満が2件、100億円以上が2件でした。初値は13勝3敗2分となりました。日経平均は引き続き4万円から3万7千円の高値での動きとなった一方で、東証グロース指数は700ポイントをさらに下回り、コロナ以来4年ぶりの安値水準に落ち込みました。長期金利上昇や海外投資家の売り圧力などの背景があるものの、新規上場市場に大きく影を落とす展開となりました。

今回は6月14日東G上場のChordia Therapeutics(株)をご紹介します。同社は、創薬ベンチャー企業として、RNA制御システムを標的とする新規抗がん薬の市場を目指して研究開発等を行っている。同社は平成29年設立、本店所在地は神奈川県藤沢市、従業員数は21名(令和5年8月末時点)の企業です。

同社の強みは、同社がマネジメントと研究業務(探索研究、前臨床研究、臨床研究)、特に候補化合物の探索、評価、最適化、臨床試験に集中し、基礎研究、原薬及び製剤の製造、流通・販売は外部協力先に委託し効率的な研究を行っている点です。また、大学や公的機関、事業補完性のある企業、製薬会社などと積極的に共同研究やライセンス提携などの協業を行い、より短期間で効率的な新薬創出に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症のmRNAワクチンをいち早く実用化したモデルナ社は、創業10年にも満たないベンチャー企業であったことでも知られています。RNAに着目した創薬研究が持つスピード感と先進性は今や世界中の注目を浴びるところであり、新規上場による資金調達との親和性も高い事例と言えます。

当法人は6月20日に一人の大切な仲間を失いました。人類にとって立ち向かうべき課題の解決に、この新規上場という制度が役立つことを願っています。

AAPの紹介

監査法人A&Aパートナーズ(AAP)は、大手監査法人と中小監査法人のメリットを併せ持つ「ミドルクラスの監査法人」を実現したいと考え設立されました。

「社員」

Best of good use (役員以外)

「社訓」

- 一、証券市場に対する貢献
- 二、顧客に対する貢献
- 三、仲間に対する貢献

私たちは常にこの理想を追求しながら、高品質なサービスを提供していきます。



発行者
 監査法人
A & A パートナーズ
 事業開発部

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-16-11
 日本橋Dスクエア 2階
 TEL : 03(5200)1636 MAIL : ipo@aap.or.jp